

日野市 定例記者会見

令和6年2月21日(水) 午前10時から
市役所4階 庁議室





1.

令和6年度予算(案)の概要

問い合わせ先 財政課
課長 佐藤 ☎042-514-8076



1. 令和6年度予算(案)の概要

令和6年度 一般会計予算規模

726.9億円

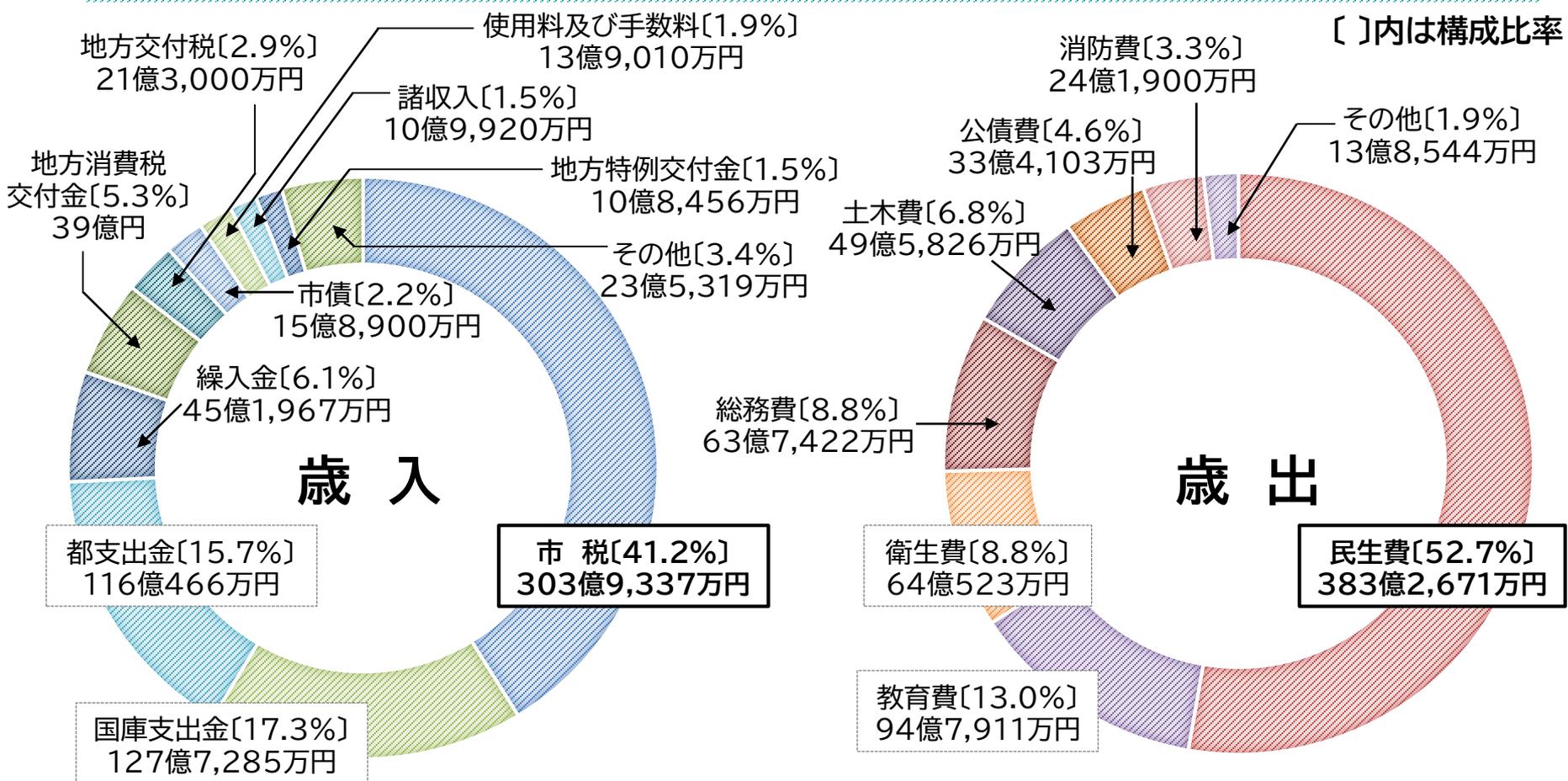
※前年度比 +40.4億円 +5.9%

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	726億 8,900万円	686億 5,100万円	+40億 3,800万円	+5.9%
特別会計	590億 9,744万円	573億 515万円	+17億 9,229万円	+3.1%
合計	1,317億 8,644万円	1,259億 5,615万円	+58億 3,029万円	+4.6%



1. 令和6年度予算(案)の概要

一般会計予算規模 **726.9億円**(+40.4億円、+5.9%)



区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	726億 8,900万円	686億 5,100万円	+40億 3,800万円	+5.9%
特別会計	590億 9,744万円	573億 515万円	+17億 9,229万円	+3.1%
合計	1,317億 8,644万円	1,259億 5,615万円	+58億 3,029万円	+4.6%



1. 令和6年度予算(案)の概要

歳入予算の概略〔一般会計〕

予算科目	予算額	増減額	増減率
市 税	303億9,337万円	▲6億4,852万円	▲2.1%
地方譲与税・各種交付金等	64億4,956万円	+9億5,706万円	+17.4%
地 方 交 付 税	21億3,000万円	+1億円	+4.9%
国 都 支 出 金	243億7,751万円	+15億2,266万円	+6.7%
繰 入 金	45億1,967万円	+19億7,079万円	+77.3%
市 債	15億8,900万円	+6,960万円	+4.6%

歳出予算の概略〔一般会計〕

予算科目	予算額	増減額	増減率
総 務 費	63億7,422万円	+7億9,703万円	+14.3%
民 生 費	383億2,671万円	+7億5,182万円	+2.0%
土 木 費	49億5,826万円	+3億8,312万円	+8.4%
教 育 費	94億7,911万円	+14億2,924万円	+17.8%

Topics

1.



すべての子どもたちが夢と希望を
持って成長していけるまち

～日野市はまち全体で子育てを応援します



1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

子ども包括支援センター「みらいく」 5月27日オープン(予定) ～中高生世代スペース、子育てひろば、子どもなんでも相談窓口を設置～

子ども包括支援センター事業経費 ほか

9,983万5,000円

令和6年5月27日(月)に子ども包括支援センター(愛称:みらいく)がオープンします。みらいくには子育て関連部署(子育て課、保育課、子ども家庭支援センター)の事務所機能が入るほか、子育てひろばや中高生世代スペース、子どもなんでも相談窓口を設置します。

● 実施内容

- ・ 子育て関連部署の事務所機能を一体化し、子育て支援のワンストップ化を実現
- ・ 母子保健分野と子ども家庭分野が一体化し、児童虐待に対する予防的アプローチを強化
- ・ 子どもなんでも相談窓口を設置し、「困った時にどこに相談すればよいか」という悩みを解消。また、市立小中学校に配布されている一人一台端末からの相談申し込みを可能に。





1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

子ども包括支援センター「みらいく」 5月27日オープン(予定) ～中高生世代スペース、子育てひろば、子どもなんでも相談窓口を設置～

子ども包括支援センター事業経費 ほか

9,983万5,000円

● 中高生世代スペース

- ・ みらいく内に支援が手薄となりがちな中高生世代の居場所を中高生世代スペースとしてオープン。特に、ひきこもりや中学、高校中退者の社会的孤立を防ぐ。
- ・ 子育てひろばと中高生世代スペースを併設することで、中高生世代が子育て親子と交流するなどの相互連携を実現。
- ・ 子育てひろばと中高生世代スペースは令和6年6月24日(月)にオープン。



▲中高生世代スペース



▲子育てひろば



1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

子どもの権利を守る「子どもオンブズパーソン」を設置

子どもオンブズパーソン事業

316万4,000円

いじめや差別などの権利侵害から子どもを救済する公的な第三者機関として「子どもオンブズパーソン」制度を創設し、全ての子どもが差別的取扱いを受けることなく、個人として尊重され、その権利が保障、擁護される社会の実現を目指していく。

実施内容

- ・ 令和6年5月27日の「日野市子ども包括支援センターみらいく」の開設に併せて制度を開始予定
- ・ 子どもが気軽に相談できるよう、相談の窓口は、原則「子どもなんでも相談」とする
- ・ 子どもオンブズパーソンの相談日は週1回

「ヤングケアラー・コーディネーター」の配置による支援体制の強化

ヤングケアラー支援事業

302万5,000円

問題が表面化しにくいヤングケアラーを早期に発見し、組織横断的な連携による適切な支援につなげることができるよう、ヤングケアラー支援の核となり、相談支援、支援調整(コーディネート)、支援機関等に対する助言(スーパーバイズ)等を行う「ヤングケアラー・コーディネーター」を配置する。

実施内容

- ・ 社会福祉士などの資格を持つヤングケアラー・コーディネーターを1名配置(週2日勤務)
- ・ ヤングケアラー専用相談窓口の設置(利用期間:月~金 午前9時~午後6時(予定))
- ・ ヤングケアラーの理解促進(市民向け講演会や支援機関向けの研修会の開催等)



1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

医療的ケア児等への支援

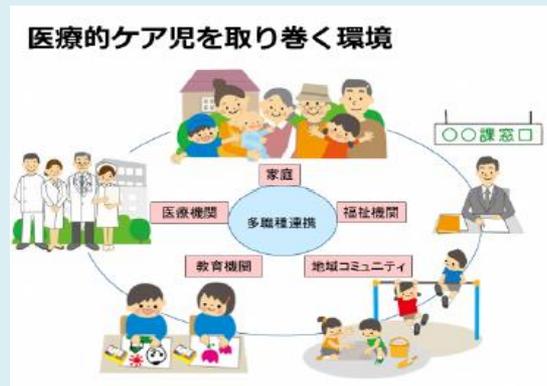
医療的ケア児等コーディネーター業務

224万7,000円

医療的ケア児等への支援については、医療機関や教育機関、また地域コミュニティなど、医療的ケア児等を取り巻く多種多様な機関が連携し、包括的な支援を行うことができる環境を整備します。

● 実施内容

医療的ケア児等コーディネーターを設置し、医療的ケア児等に関する相談を受け、医療・福祉・保健・子育て・保育・教育等にまたがるサービスを総合調整し、関係機関に繋いで必要な情報提供や助言を行う。



西平山あそびばづくりプロジェクト

子供の遊び場等整備事業

1,408万2,000円

子どもが主役となる自由度の高い遊び場を整備します。区画整理事業により、良質な住宅地の整備が進んでいます。子供の意見を中心にしながら、年代差をこえる、誰もが使いやすい、遊びを核としたインクルーシブなコミュニティの場づくりを目指します。

● 実施内容

- 令和5年度に、子どもを主役として遊び場整備方針を検討
- 令和6年度は、子ども参加型の詳細設計を実施
- 令和7年度に、整備工事を実施。一部整備には子どもも参加するプログラムを実施。





1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

子どもたちにもっと身近な読書を(読書習慣の形成)

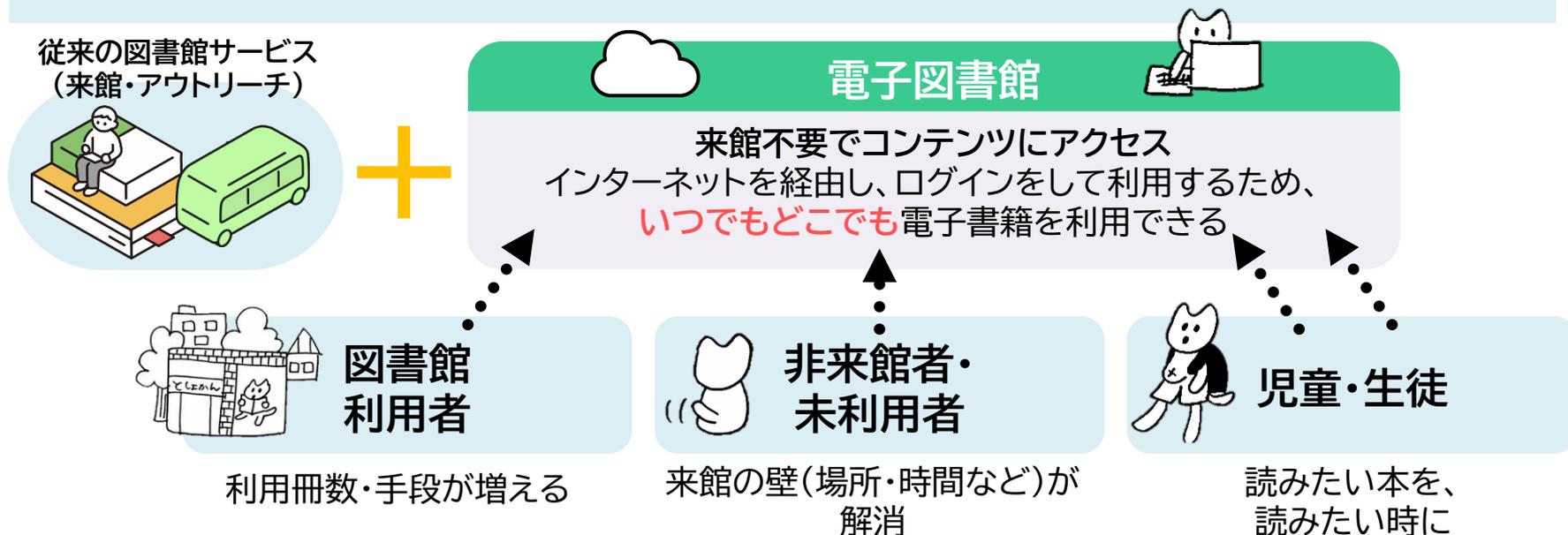
電子図書館サービス

1,279万円

いつでもどこでも、インターネット経由で電子書籍が読める電子図書館サービスを開始します。従来の貸出サービスに加えて電子書籍も導入することで、利用手段が増えるほか、同時アクセス数が無制限のコンテンツを用意するなど、児童・生徒の「今読みたい」気持ちにこたえます。

● 実施する内容

- 紙の蔵書とは別に、電子書籍(約2,500タイトル)・電子雑誌を順次導入・提供する
- インターネット経由で、お手持ちのスマートフォンやタブレット、PCなどで利用が可能
- 市内の児童・生徒に対して学校用IDを別途発行し、身近な環境(特に学習者用端末)で読みたい本を読みたい時に楽しむことを可能にする





1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

不登校支援対策

個の状況にあわせた不登校支援経費

5,410万1,000円

校内の別室であれば学校に通える不登校及び不登校傾向の児童・生徒を支援する事業。
支援内容は、教室以外で通える場所を提供し、安心して、自己存在感や充実感が感じられる居場所作り、さらに児童・生徒へは、学びの継続、社会的自立に向けた支援員を配置。

● 実施内容

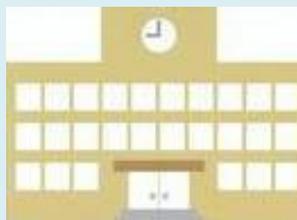
- 令和6年度(2か年事業) 小学校5校
- 令和5年度(2か年事業) 中学校5校、小学校1校
- 本事業で、市内小学校3割、市内中学校6割を対象とする。
※残りの小中学校では、家庭と子供の支援員、及び学力向上支援者等を活用しながら、児童・生徒への支援を行っていく
- 令5年度に支援員を配置した三沢中学校においては、令和6年度に正規教員を追加配置し、東京型不登校特例校であるチャレンジクラスを開設していく。

不登校支援対策
～関連部署で連携しながら対応～

校内別室
(教室とは違った居場所)



校内設置



連携

教育センターなど





1.すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるまち

不登校児童・生徒を支援

わかば教室運営事業

4,167万5,000円

不登校児童・生徒が増加しているため、不登校支援を充実する。また、日野市の不登校児童・生徒を対象とした「わかば教室」に通う児童・生徒も増加している。「わかば教室」は不登校児童・生徒が安心して過ごせる居場所として、学習支援や相談等の個に応じた指導の充実を目指す。

● 実施内容

- 教育支援コーディネーターの新規配置(1人)
- カウンセラーの勤務時間の延長(6H/日⇒7.5H/日)、増員(週2日は2人体制)
- 登校支援員(学習支援、オンライン担当)の増員(1人⇒2人)

Topics

2.



家屋異動判読業務

～職員が目視で行っていた業務をAIに～

問い合わせ先 資産税課

課長 伊藤 ☎042-514-8257



事業実施の背景

→ 固定資産税の賦課の仕事は、

賦課期日(1月1日)以降に業務集中

- AIを活用し賦課期日以降に行っている業務を効率化
 - ・新築・滅失等の現地調査時間の削減
 - ・職員による航空写真を活用した目視による確認作業時間の大幅な削減

削減時間



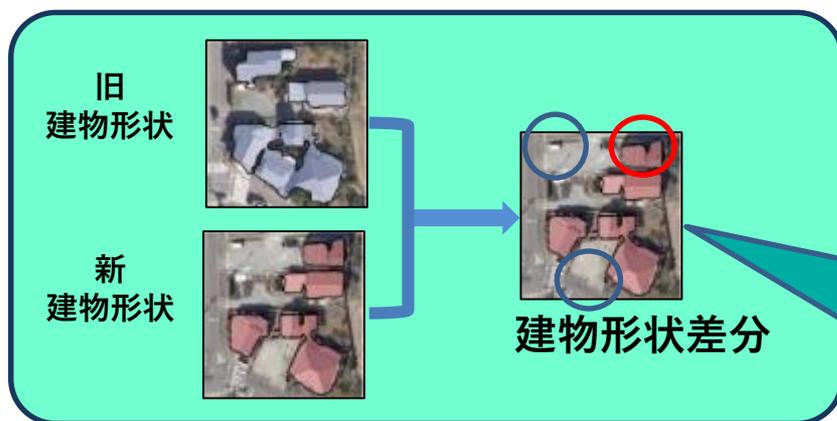
「家屋評価など」
他の業務に集中



業務概要

→ AIによる家屋異動判読の流れ

- ①新旧2年の航空写真データからAIにより建物形状を抽出
- ②家屋形状を重ねて、その差分から新築・滅失等の異動を判定



AIによる
判定

- 新築された家屋
- 滅失した家屋

- ③目視のみで行う従来の異動判読作業より精度が上がる

Topics

3.



気候市民会議を踏まえた気候変動 対策の具体的な実行に向けて



問い合わせ先 環境保全課

課長 中平 ☎042-514-8294

気候市民会議の概要



気候市民会議とは・・・

無作為抽出した4,500名の市民へ参加依頼の通知を発送し、154名から参加希望。日野市の人口構成・男女比に合わせて40名の参加市民を抽出、8月から12月まで毎月「気候市民会議」を開催

環境フェア(令和6年2月10日(土))

5回の会議を通じてとりまとめた、「政策提言書」を市民から日野市長へ提出



1回あたり4時間の会議
×5日間



“学び” “話し合い”

1. 情報提供 2. 参加市民のグループワーク

日程とテーマ

登壇有識者(ゲストスピーカー)

第1回

8月6日(日)
会場: イオンモール多摩平の森 イオンホール

江守先生
(東京大学未来ビジョン研究センター教授)
三上先生
(名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

第2回

(モノ)
9月3日(日)
会場: 日野市役所
505会議室

山口真奈美氏
(一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会代表理事)
セブン-イレブン・ジャパン 消費・購買
日野市資源リサイクル協同組合 鹿塚
(有)駒沢産業

第3回

(モビリティ)
10月1日(日)
会場: 日野市役所
505会議室

井原雄人氏
(早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所 研究院客員准教授)
日野自動車 入流
佐川急便 物流

第4回

(エネルギー)
11月5日(日)
会場: 多摩動物公園

磐田朋子氏
(芝浦工業大学副学長)
東京ガス
富士電機

第5回

(まとめ)
12月10日(日)
会場: 日野市役所
505会議室

山本良一氏(東京都公立大学法人理事長)



気候市民会議提言書 (表紙)

日野市気候市民会議からの提言

～カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けて～



2024年2月
日野市気候市民会議



参加市民代表の方から市長へ直接手渡して頂きました。



提言書に応え、その実現に向けた想いを伝えました

令和5年度日野市環境フェア (会場:イオンモール多摩平の森)



日野市気候市民会議の提言書は左のQRコードからダウンロードできます

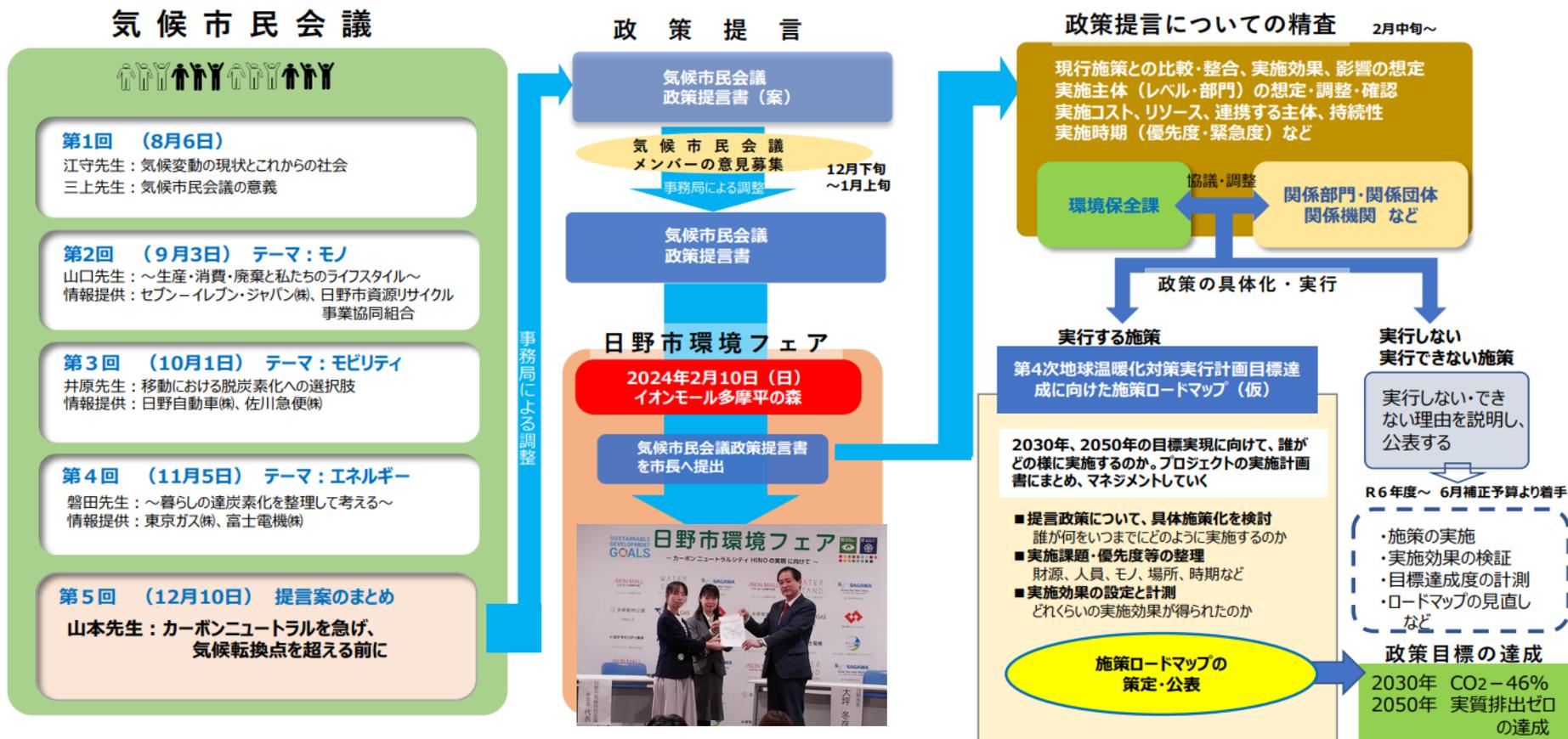
日野市気候市民会議からの提言
～カーボンニュートラルシティHINOの実現に向けて～



気候市民会議施策の推進イメージ

① 今後の流れ

■ 気候市民会議終了後の政策提言～実施に向けたフロー



5回の市民会議の市民意見を取り纏め、令和6年2月10日にイオンモール多摩平の森にて開催された「環境フェア」において、市長へ「日野市気候市民会議からの提言」として、提出して頂きました

提出頂いた提言書については関係する部門との調整の上で、実行性、効果、優先度などを考慮の上で、実行できるものは施策として構成し、プロジェクトとして推進管理をしていきます。また、実効ができないものについては、その理由を明確にし、説明責任を果たしていきます。



気候市民会議施策の推進イメージ

② 施策のプロジェクト化

提言書の施策のプロジェクト化のイメージ

イメージ (仮) カーボンニュートラルシティ 未来のHINOプロジェクト



取り組みの輪を広げる
【PROJECT 1】

2050年の姿

市民や地域内外の様々なステークホルダーが課題にを共有し、一緒にカーボンニュートラルの実現に取り組んでいる

ACTION 2030

- 気候市民会議実施地域で連携し、関心を広げます。
- 気候変動の取り組みで行政間の連携を進めます。
- 産学官民で目標を共有し、協調して取り組みます。
- 気候変動に関する連携のきばんをつくります。

プロジェクト全体を分類ごとに再整理し、目標を改めて設定する。(MECE※1)



再生エネルギー利用を促進する
【PROJECT 2】

2050年の姿

再生エネルギーの普及により、エネルギーの地産・地消が実現されている

ACTION 2030

- 地域の住宅、民間施設等の再生設備の設置を促進します。
- 公共施設の再生率を向上し、エネルギー管理を推進します。
- 大規模な開発における民間施設への再生設備設置を誘導します。
- 官民連携により、再生エネルギーの利用を推進していきます。



モノを循環させる仕組みをつくる
【PROJECT 3】

2050年の姿

市民・時御者が資源を大切に、無駄な消費・廃棄をなくし、資源が循環する地域社会が実現されている。

ACTION 2030
ACTION 2030

- * * * *
- * * * *
- * * *



学び・行動する環境をつくる
【PROJECT 3】

2050年の姿

市民や地域内外の様々なステークホルダーが課題にを共有し、一緒にカーボンニュートラルの実現に取り組んでいる

ACTION 2030

- * * * *
- * * * *
- * * *

※1 Mutually Exclusive & Collectively Exhaustive (MECE) の意

(注) 上記の施策は検討中 (未確定) のものであり、現段階のイメージです

バックキャストの視点でプロジェクトをイメージする

日野市 定例記者会見

